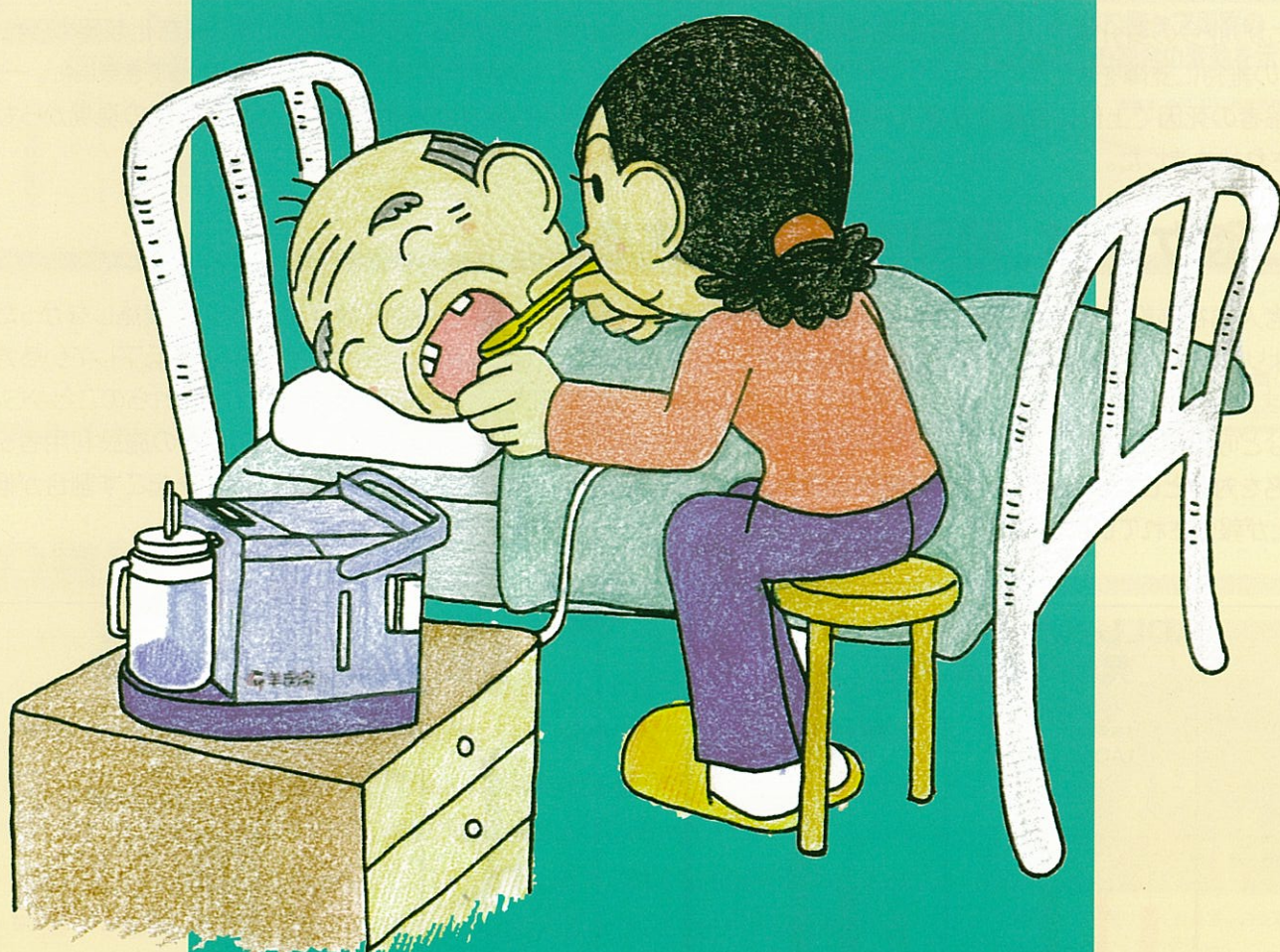


口腔ケアをとおして 要介護者の全身的健康 をまもる

～口腔という生命科学への入り口～



監修： 加藤武彦先生 (加藤歯科医院・神奈川県開業)
米山武義先生 (米山歯科クリニック・静岡県開業)

口腔ケアと全身の健康

これまで長い間光があたっていなかった口腔ケアに、弱々しいながらもしっかりと、新しい時代の光が当たろうとしています。そして口腔ケアと全身の健康との関係が少しずつわかってくるにつれ、広く口腔ケアの大切さを理解したいという要望が高まってきました。口腔ケアによって笑顔が出て、お年寄りが若返ったという話もよく聞くようになりました。それでは口腔ケアにはどのような効果があるのでしょうか。



米山武義先生
(米山歯科クリニック)

口腔ケアとは

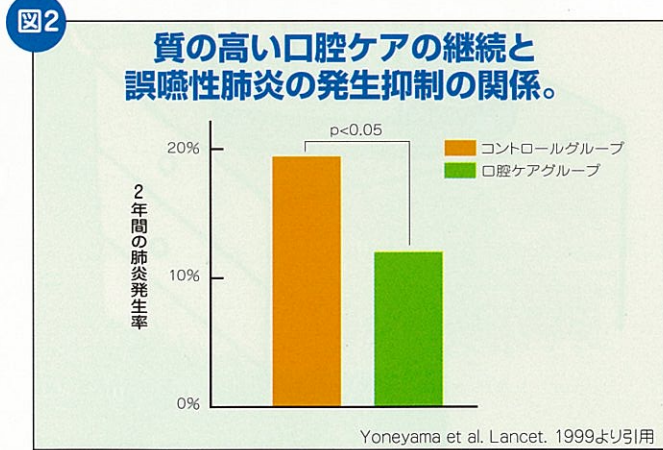
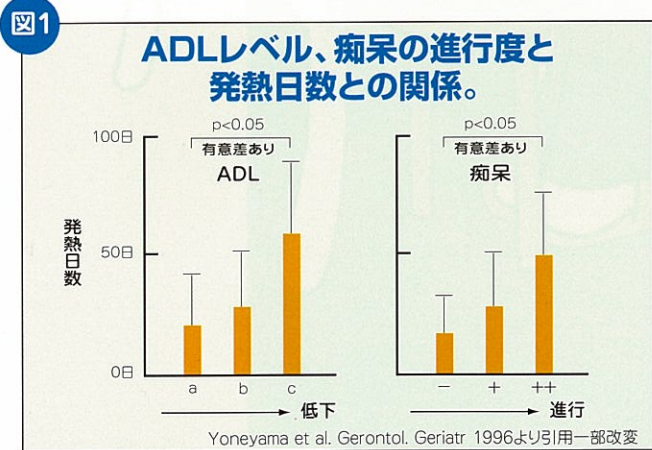
口腔ケアは、広い意味では口腔のもっているあらゆる働き（摂食、咀嚼、嚥下、審美性・顔貌の回復、唾液分泌能の改善等）の介護を指します。しかし一般的には口腔衛生の向上を促す口腔清掃を意味します。

口腔ケアはなぜ必要か

口腔は、生命維持にとって基本的かつ重要な働きをもつ器官であります。さらに、愛情表現への関与など人間関係の創造、人間成長への関与という高度な役割をも有しています。これまで口腔ケアについて、あまり目が向けられていませんでしたが、昨今の要介護者、要支援者の急激な増加のなかで、口腔に関わる機能に障害を持った方の顕在化が認められ、QOLの維持に支障をきたしているケースが非常に増えてきたことから、口腔ケアに対する必要性が高まってきました。一方、高齢者の死因で上位に位置する老人性肺炎を口腔ケアで予防できる可能性が示唆されたことから医療の現場からも注目され始めました。

口腔ケアは、発熱を予防する

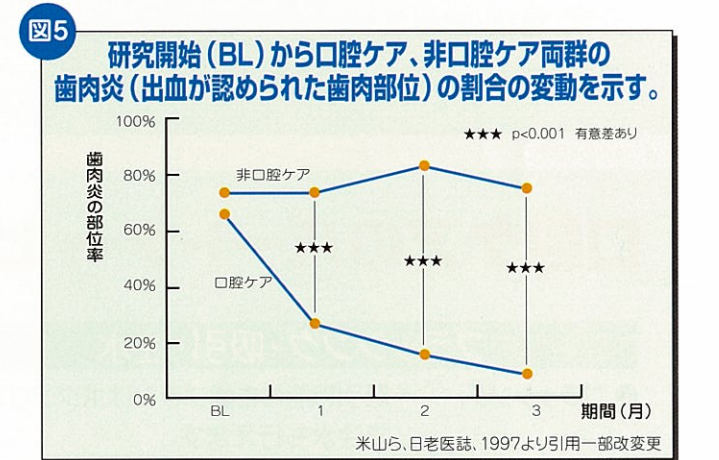
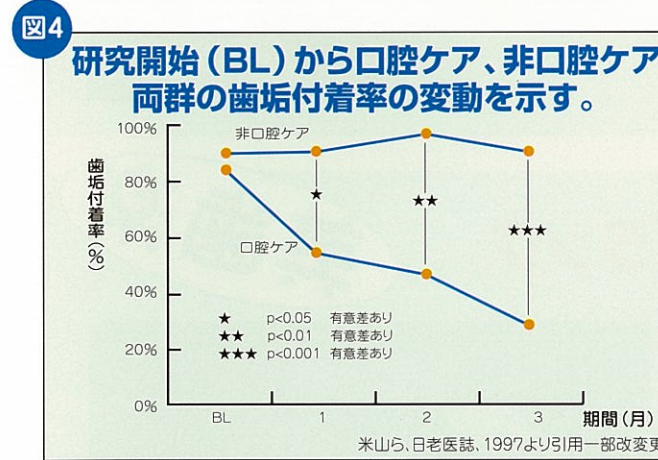
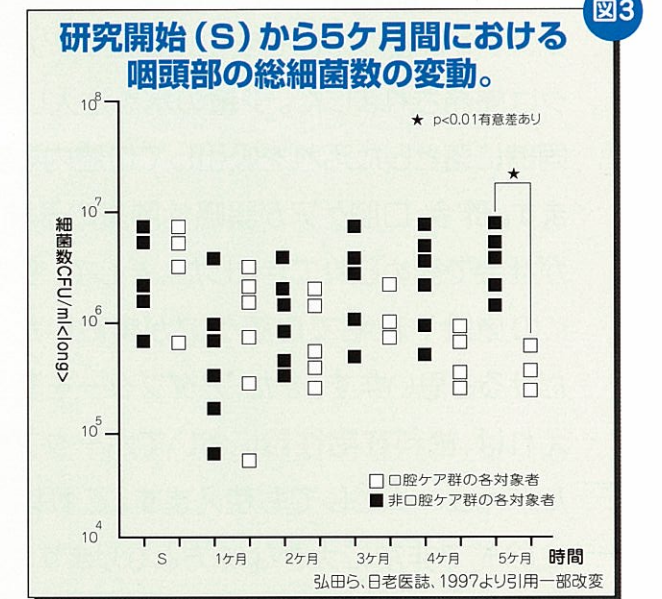
老人福祉施設において口腔ケアと発熱に関する調査研究を実施したところ発熱日数が、口腔ケアを実施しなかった期間より口腔ケアを実施した期間の方が有意に減少したことがわかりました。また、利用者のうちADLが低下している方ほど、また痴呆が進んでいる方のほうが、そうでない方より発熱日数が多いことも判明しました（図1）。これらのことから、肺炎など呼吸器感染症の予防には、日々の口腔ケアが大切であることが示唆されました。一方、全国11の施設利用者500余名を対象とした口腔ケアと肺炎に関する研究によると口腔ケアを受けた方のほうが、誤嚥性肺炎を起こす割合が低いことが報告されています（図2）。



口腔ケアによって咽頭部の細菌が減る

口腔内には多くの細菌（口腔細菌）がいます。一説によると歯垢1mgに1～10億の細菌が生息しているといわれています。これらの細菌が、咽頭を通過して食道や肺に運ばれる可能性があることから、口腔ケアがひじょうに重要になってきます。施設利用者を対象に口腔ケアをやった場合とやらない場合を比較し、咽頭部の細菌数をみたところ口腔ケアを行なった方のほうが、有意に咽頭部の細菌が減少することが明らかになりました（図3）。

また口腔ケアによって歯肉炎が確実に改善することがわかってきました。（図4、5）。歯肉炎や歯周病を引き起こす菌が、肺炎の原因菌という報告があり、今後、歯肉炎の改善についてもっと注目する必要があります。



口腔ケアと心のケア

口腔内はたいへんデリケートな場所です。ちょっとした口内炎でも歯ブラシが当てられないどころか、食事制限されてしまいます。このことが栄養摂取の制限、抵抗力の減退につながる可能性があります。日々、注意深く口腔ケアを行なっていくと、口内炎ができにくくなるばかりでなく、唾液の分泌量が明らかに増加し、食欲が増していきます。さらに食前に口腔の周囲筋および口腔内を刺激することによって嚥下がスムーズになっていくことが知られています。相手の気持ちになって、またデリケートな場所であることを認識して心に訴えるように口腔ケアを実践すると心の交流が深まるものと思います。



心を開けば口を開けてくれます。口を開けてくれれば心も開いてくれます。

在宅口腔ケア用機器の開発に携って

在宅や施設においては、ブラッシング後のうがいができない人や誤嚥のある人には、危険が伴うので、今まで口腔内を清潔にするいわゆる口腔ケアができない状態で放置されていましたが、こういった状態の方にも安全に口腔ケアができるようにと、このビバラックは開発されました。少量の水を注入しながらのブラッシング、それと同時に落とした汚れを吸引して口腔内を安全に清潔にすることができます。昨今、口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防に大きく関与するということが社会で認められてきました。そして、今ならこのビバラックを使い、多くの施設や**在宅で口腔ケア**が実践いただけると思います。また、アダプターを変えれば、**歯科在宅往診**においてポータブルバキュームとしても使えます。これは往診先で非常に大きな味方となります。この二つの機能を備えた「ビバラック」は介護・看護・歯科往診の一助となる優れたものです。



加藤武彦先生
(加藤歯科医院)



口腔ケアのパートナー ビバラック



ブラッシング・吸引・注水

- ブラッシング・・・吸引機能付き歯ブラシはボタンひとつで注水も行えます。
- 吸引・・・吸引チップにより口腔内にたまった食べ物のカスや唾液の吸引を行えます。
- 注水・・・注水チップによりボタンひとつで口腔内に新鮮な水の注水が行えます。

簡単な操作でどなたでも楽に安全に口腔ケアが行えます。



●お問い合わせは



■発売元 新精機工業株式会社
■製造元 歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー

株式会社 東京技研

Home Page <http://www.tokyogiken.com>
E-mail TG@tokyogiken.com

本 社 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL (03)3703-5581 (代) FAX (03)3705-1760
仙台営業所 TEL (022)371-9651 (代) FAX (022)371-9653
名古屋営業所 TEL (052)776-3355 (代) FAX (052)776-3356
大阪営業所 TEL (06)6368-8877 (代) FAX (06)6368-8876
福岡営業所 TEL (092)411-0377 (代) FAX (092)411-0376
横浜工場 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37
TEL (045)591-4441 (代) FAX (045)591-4445
(ISO9001 ISO13485 認証工場)

